

第13回 環境気象学コロキウム

下記の通り、第13回環境気象学コロキウムを開催致します。今回の話題提供者は、立正大学名誉教授の福岡義隆先生です。学部1年生から大学院生まで環境問題や気象学に興味をお持ちの方は、ぜひご参加ください。福岡先生には、ご退職後も5年間にわたって一部の授業を非常勤で担当して頂いておりました。本講演はその「最終講義」と位置づけられます。多くの方々のご来場心よりお待ちしております。

開催日：2015年1月21日（水）17:50～19:00

会場：アカデミックキューブ4階415室

話題提供者：福岡 義隆 先生（立正大学名誉教授）

「都市気候から気象病へ－気候学研究の遍歴－」

講演概要：

約半世紀にわたる気候学研究遍歴を、以下の6つのトピックスを中心に概説いたします。未来ある学生たちのこれからは少しはヒントとなりそうな冒険・発見の寸話をお話します。

- ①都市気候事始めとして電車による冒険的移動観測
- ②モグラ視点の気象研究に取り組み、地中のヒートアイランド（H I）発見
- ③盆地都市（福島など）と海岸都市（広島など）のH Iと大気汚染
- ④海外（USA・中国・インドなど）諸都市の都市大気環境調査
- ⑤日本一高温都市熊谷のH Iと熱中症
- ⑥3回の国際生気象学会にH I研究発表参加

掲示期間：2015年1月21日（水）まで 世話人 重田祥範

